

農業と地域を元気に JA女性部活動

ふみだす勇氣 学ぼう・伝えよう・地域とともに

1月31日に開かれた、第15回JAあきた白神女性部大会・家の光大会であいさつをする佐々木博子部長。女性部員約200人が参加し、「食」と「農」を基軸とした活動の充実や幅広い世代の仲間づくりを押し進め、JAと協力しながら知恵を出し合って活動していくことを誓いました。

JA女性部とは

JAをよりどころとして、食と農、くらしに関心のある女性が、集まって活動する組織です。JA女性組織は、ほとんどのJAにあり、全国に652組織、約55万人（平成30年7月現在）のメンバーがいます。主な活動として、食農教育の実施や各種大会・研修会の開催、福祉事業を通じた地域住民との交流などがあります。

当JA女性部（佐々木博子部長）は、能代支部、二ツ井支部、藤里支部の3支部に分かれて活動しているほか、部員同士の情報交換の場を設けるため、3支部合同の行事も開催しています。様々な活動を通し、女性たちが自分らしくいきいきと暮らせること、また、地域や社会が本来の意味で豊かになることを目指し活動をしています。



会場が笑いに包まれた
今立善子さんの講演



スライドショーで
年間の活動を確認



二ツ井支店前の花壇を地区女性部員が整備



藤里町民祭では藤里産食材を提供

JA女性部の活動と役割

私たちを取り巻く社会・農業情勢は急激な変化を遂げています。そのような中で、「食」と「農」の大切さが改めて見直されるようになり、地域社会の要である女性部の活動がより重要なものとなっています。

「食」と「農」の大切さ、農業の果たす多面的な役割を理解してもらう『食農教育』や、地産産食材の供給拡大、地域の食文化の継承を目的とした『地産地消運動』。また、少子高齢化が進む地域において、安心して暮らせる地域社会づくりを行う『助けあい活動』など、その活動は多岐にわたり、地域にとって欠かせないものとなっています。